



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュ **令和2年11月号**
進められています。町民と子どもたちのかかわりを中心に、子どもたちの生き
生きした様子をお伝えいたします。

しみず保育所

芋ほり体験をさせてもらいました！

～うんとこしょ！どっこいしょ！

毎年、10月下旬、清水高校で芋掘り体験をさせてもらっています。今年も
お誘いいただき、10月22日にお邪魔してきました。高校に着くと、高校生
が作業室やビニールハウス内を案内してくれ、普段どんなことをしているのか



教えてくれました。子どもたちは目をキラキラ
させていました。特に、目の前で木のおもちゃ
を作ってくれた時には、形が変わっていく姿に
歓声があがっていました。

芋ほりでは、芋を傷つけないよう土を優しく
掘りました。…が、なかなか大きな芋は抜けず、
高校生が手伝ってもらい、とても大きなお芋が
たくさん抜けて大収穫でした！

そして11月6日、子どもたちが指折り待ち見たい焼き芋の日♪高校のグラ
ウンドに入ると…焼き芋のいい香りが！到着すると既に出来上がっており、高
校生から「ありがとう」と受け取り、おいしくいただきました。出来立てはほ
くほくで、甘くて、「おいしい～」と大喜び♪お
かわりもたくさんいただきました。

コロナ禍の状況で、高校生と例年のように遊ん



で交流することはできませんでしたが、大切に芋を育ててくれて、美味しく焼いてくれた高校生に感謝と憧れの気持ちでいっぱいの子どもたちでした。(帰りは、お互い姿が見えなくなるまで「ばいばーい!」と手を振っていた姿がかわいかったです♡)

御影こども園

サッカー体験



10月19日、21日、27日の3日間、十勝サッカー協会と御影サッカー少年団の指導者の方が来園し、年長児と年中児にサッカー体験をさせてくれました。今年度は感染症対策のため、いろいろな行事に制約がありますが、屋外で感染予防に気をつけながらの開催になりました。

ボールと自分の距離を測ったり、向かってくるボールを受け止めたりと、初めての体験でも上手にやっている子が多かったように感じました。夢中になると、つい手が出てしまう子もいましたが、指導者とのミニゲーム対決では、汗をかいてボールを追いかけ、笑顔もたくさん見られました。勝敗は・・・。

お忙しい中、園児にサッカーを教えてくれた指導者の方々に感謝いたします。帰りには、こども園で実ったりんごを、お礼として差し上げました。近々みんなでお礼の手紙を届ける予定です。

清水幼稚園

清水高校生ありがとう!



大活躍「ヤキイモ君1号・2号」

10月30日(金)。待ちに待った焼き芋です。高校生が、9時前には到着して焼き芋の準備を始めました。ばら組からサツマイモ持って、クラスごとに高校生に「おいしく焼いて下さい」と言いながら渡しました。そして、焼き芋が焼けるまで、園児も高校生と一緒に冬支度をし

ました。
高校生は園庭の近くの物置に入っている

夏の遊具と冬の遊具の入れ替えを手伝ってくれたり、落ち葉集めをしてくれたり、とてもよく働いてくれました。そうしているうちに焼き芋が出来上がりました。みんなであつあつの芋を笑顔でたくさん食べました。その後に来年に向けて、畑にたい肥を入れて、おこしてくれました。

清水高校には、先生方をはじめ、生徒の皆さんには、幼稚園のために力を貸して頂いています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



年少児さんと記念撮影。みんないい顔です。

清水小学校

体力テストでお世話になりました

今年の体力テストは、学年を縦割りにして行いました。写真は、2年生と5年生と一緒に「ソフトボール投げ」のテストを受けている様子です。上級生が下級生を引っ張って行ってやさしく面倒を見たり、上級生のリードでう



まく測定に参加したりすることができ、子どもたちも楽しんで行うことができました。また、今回の体力テストでは、CS（コミュニティ・スクール）コーディネーターを通じて、地域ボランティア

の方々にお伝いをいただきました。ボランティアで協力して下さった中の一人、清水町体育協会の中島さんは、「野球をやっている子などは上手に投げられるけど、普段ボールを投げていない子は、力を出しきれていないですね。そのため、正しいフォームで投げる練習から始める必要がありますね。」とアドバイスを下さいました。また、「体力テストの公式判定員の資格をもっているのので、これからもお手伝いできます。もっと記録を伸ばすために必要な指導などもできますよ。」とおっしゃってくださいました。このように、地域の皆さんに学校の教育活動を支えていただけることは、とても有難いことです。お忙しいところ、



ご協力いただきましたボランティアの皆さん、大変ありがとうございました。

御影小学校

盲導犬体験学習～視覚障がいについて学ぶ～

10月16日（金）、6年生が総合的な学習の時間に福祉をテーマとして、盲導犬体験学習を実施しました。町社会福祉協議会のお世話により、北海道盲導犬協会から講師の先生と盲導犬「ばあむ」を派遣していただきました。

子どもたちは、特殊なフィルターを覗き、視界が白く濁って見えたり欠けて見えたりするなど、見づらさの体験をしました。また、視覚障がい者用の文字を書くための道具（枠）を使い、アイマスクを掛けた状態で自分の名前を書いてみる体験もしました。その後、アイマスクをして実際に盲導犬と共に歩く体験や、白杖を使って歩く体験をしました。

さらに、盲導犬と共に歩いている方がいたら、勝手に盲導犬を触ったりしないこと、白杖を使って歩いている方がいて困っているようなら、どのように声を掛け手助けしたらよいのかなど、気を付けることについてもたくさん学びました。

盲導犬「ばあむ」は、講師の先生がお話している間もじっとして待っていて、その賢さに子どもたちも感心していました。

子どもたちは、この学習を通して、見えない中で生活することについての貴重な体験をし、福祉についての学びを深めることができました。お世話いただいた方々に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



清水中学校

様々な職業人からの講話

今年は新型コロナウイルス感染拡大のため、例年2年生で行っている「職場体験」に替わり、町内外の様々な「職業人」の方々から「進路や職業」に関わるご講話をいただく機会を設定しました。皆さんからその職業に就いた理由、仕事内容や特徴、その職に就くまでの経緯、仕事上の苦勞や生きがい、社会人としての心構えや身に付けておくべきこと等々、校外での職業体験はできませ

んでしたが、貴重なお話を聴くことができました。



フリーランスの司会業をなさっている米澤愛さんからの「マナー講座」に始まり、清水町真浄寺僧侶の永田弘彰さん・寿光寺僧侶の増山直樹さんからはお二人で結成している「シミーズ」の漫才を軽快なトークで披露していただき、「命」の大切さを学びました。また、十勝スローフード代表の藤田恵さんからは、「目標」を持ち、「計画」を立てることの大切さを学びました。さらに介護

老人福祉施設ひろね施設長佐々木政人さん、十勝清水コスモスファーム代表安藤智孝さん、清水町役場前田真さん、FM-JAGAのDJ栗谷昌宏さんからも、それぞれ資料を提示していただき、個性豊かに学生時代の話や進路決定までの話、仕事のやりがいなど中学生にとって、学ぶことの多い学習となりました。

生徒たちからは、「職業を選択するときは何を大切にすべきか分かりました」、「何事も諦めないことが大事だと学びました」など、これから進路選択や将来を考えるうえで、多岐に亘る職種の方から貴重ご講話をいただきました。

ご多用のなか、普段学べないお話をたくさん提供していただきました。深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



御影中学校

職場体験

10月28日（水）に2学年の生徒が清水町・新得町内の各事業所等で職場体験学習を行いました。体験前には、帯広信用金庫より講師を招き「マナー講座」を受けてからの職場体験。



体験の目的は「働くことの意義や大切さ」を学ぶことです。自分の適性や長所を振り返り、礼儀作法や言葉遣い等、普段の学校生活を振り返ることができるようにすることもねらいの一つです。





生徒は仕事の楽しさ、難しさ等を感じながらも、とてもよい表情で体験学習を行うことができました。生徒のために学習の場の提供とご指導を頂いた清水町・新得町内の各事業所等の皆様に心から感謝申し上げます。

※協力事業所等

御影保育所、しみず保育所、清水町図書館、村上牧場、藤田牧場、えびすや菓子舗、ごはん屋ゆめあとむ、清水自動車工業(株)、清水消防署、新得警察署、御影診療所